

Feng-Shui Gallery

special edition vol.7

～風水デザインが空間にもたらす影響を、住空間のスペースごとに考える～

『外観・エクステリア』



【写真1】 建物の基礎を覆うように植栽を施すと建物の質感を一層高めることができます。また門扉は設けずに門柱のみのアプローチにすると「迎えられ」印象を強め、入りやすい雰囲気を作ることが可能です。**【写真2】** 緩やかに上がる階段アプローチは穏やかな気をもたらします。玄関先のシンボルツリーは、その周辺に低めの樹木を植えることで起伏ができて「氣の流れ」を活性化します。**【写真3】** 石・レンガ・木などの異なる素材を組み合わせることによって変化に富んだ「右脳を活性化」する庭づくりができます。**【写真4】** 照明は、足元や壁を照らす間接光にすると上質で穏やかな気を生み出します。樹木や表札などは下から上に向けて光をあてると「上昇する運氣」を呼び込みます。**【写真5】** 道路から玄関まで数段上がって至るアプローチは良質な「陽の氣」を生み出します。



暖かみのある明るいオレンジ色の外壁は、建物の印象のみでなく、周辺環境にまで良い影響をあたえます。アーチ型の垂れ壁や円柱型の外壁に取り入れられた曲線は、安心感や安らぎを与えてくれます。

門戸周辺は大切な氣の入り口。アプローチや植栽で場を整えて良い氣を取り入れる。

戸建て住居の場合、氣の入り口は玄関のもう一つ手前の門戸がそれにあたります。良い氣を取り入れるために、ぱつと見て閉鎖的な外観よりも、大きな門と開放的な塀で構成された外構が良いと言えます。

具体的に、まず門の幅は広い方が良いでしょう。そして門から玄関までの距離もできるかぎり確保し、なおかつアプローチを緩やかな曲線でつくることで、良質な氣を生み出し家運を強めます。門戸や塀のないオープン外構は人が訪れやすく人氣を呼び込みます。植栽についても、門や塀と同じように閉鎖的にならないように気をつけます。例として、アプローチの両脇に柔らかな印象の樹木や花を植えると、「おもてなし」の氣を発して、「優しき」を家と呼び込むことができたり、高木と低木とを組み合わせ樹木の起伏を作ることで「発展的な氣」を生み出す、というような感じですね。

また、植栽は四季によって様々に変化しますので、それを考慮して植えることによって、家の外観イメージも四季折々に変化し、良質な氣を迎え入れることが可能となります。

マンシヨンなどでも、玄関やベランダに花瓶・プランターなどを設置して植物を配置することで、氣を呼び込んだり、氣の流れを良くしたりする効果を得ることができるでしょう。